

## 2017年度第二回総会議事録

日時： 2017年07月22日

場所： 早稲田大学戸山キャンパス 学生会館 W508会議室

文責： 大田 雄哉（慶應義塾）

出席： 茨城、慶應義塾、相模女子、実践女子、十文字女子、千葉  
筑波、電気通信、東京、東京工業、東京農工、東京理科  
横浜市立、横浜国立、立教、早稲田、北里、フェリス女学院

委任： 日本女子 一橋 津田塾

欠席： 関東学院

議長： 渡辺 鷹志

**全会一致(16)で議長承認**

### 議題目次

1. ペア〇の決算
2. ペア〇の反省読み合わせ
3. 新人戦テレイン、役職決定
4. 日本学連幹事会報告
5. 後援申請
6. ロングセレエントリーミスについて
7. ロングセレ意見書について
8. ロングセレに関する規約改正案について
9. ロングセレ推薦について
10. 新しい推薦規約について
11. 次回総会の日程と議長の決定

### 1. ペア〇の決算

5月に行われたペア〇の決算について報告を行った

※決算の表は別途添付

電通「赤字の埋め合わせはどこで行われているのか」

幹事「学連の会計を一年間通してみると収支はほぼ相殺される」

**全会一致(16)で承認**

## 2. ペアO反省読み合わせ

各パートの反省は割愛

その他

- ・時期が遅いのではないか

→4月か5月の第一週に各大学の新歓イベントの一環として開催した方が盛り上がる  
のではないか、運営陣の引継ぎ、テレインの決定、申請を早めれば可能か

↓

直前キャンセルへの対応などエントリーに難

ペアOとは別に関東学連の新歓を実施するのが現実的か

## 3. 新人戦テレイン・役職決定

9月に開催される新人戦について、テレインと役職の決定を行った

テレイン案

テレイン名	アクセス	ビジュアル	投票した大学
滝山城址	○	○	東工、千葉
両総用水	-	-	なし
番匠峰古墳	×(車なら○)	-	なし
高麗郷	-	設定困難	なし
日和田	-	-	なし
鬼ヶ谷津	○(バス)	○	なし
宇根峠			なし
北山			一ツ橋 筑波
木葉下			農工
鐘撞堂山			

木葉下はイノシシ罾の問題と交通が車

鬼ヶ谷津は過去に渉外で断られた

例幣使に投票多数であったが申請が間に合わないのて却下。

北山は会場がテレイン内にあり、無料の駐車場も併設、ビジネスホテルあり、地図が新しい、最寄り水戸線宍戸駅(会場から2.2km)

北山で実施するかどうか採決を行った

→全会一致(16)で承認

役職決め(立候補制)

運営責任者 結城大瑚

競技責任者 立花和祈

会場 渡辺、高見澤、久野、若松、中村、古谷、関塚、七五三、木村、小林

計セン 西村(早稲田)、種市、上野

スタート 増澤、大田、小川、松崎、木下、内山、高橋、

ゴール 池田、田原、潘、杉山、西村(津田塾)、藤原

赤字はパートチーフ

#### 4. 日本学連幹事会報告

加盟校基準の統一を話し合った。

現在、準加盟校から加盟校への格上げは関東では5人だが、東海、関西は10人、北東に基準はなし

一校でリレーのチームを組める(三人以上)を基準とする見込み

三人以上インカレリレーに参加登録している場合、特例措置は廃止

特例措置を行っている場合は表彰なし

早稲田「男子二人、女子二人の場合はどうなるのか、なぜ三人なのか」

幹事長「後者については加盟の目的がインカレ出場であり、リレーが三人で出場する競技であるため。前者は学連に持ち帰って話し合う」

早稲田「加盟を行った一年間の間に三人以下になってしまった場合に、いなくなった一人のために特例措置をとれなくなるのではないか」

幹事長「学連に持ち帰って話し合う」

#### 5. 後援申請

慶應義塾大学と東京工業大学から後援申請が来ている。

東京工業大学の申請、及び慶應義塾大学の申請は全会一致で可決

※各大学へ 後援申請の際は要項の添付を忘れずに

## 6. ロングセレエントリーミスについて

横浜市立大学において四年生二人のエントリーにミスがあった。実行委員会側から一度は拒否されたものの、関東学連内の決定によって、エントリーが認められることになった。今後は運営の負担を考え、こういった遅れエントリーはなくさなければならない。今後各大学のエントリーの担当者は、特にインカレやそのセレなど重要な大会ではエントリーシートの内容を十分に確認するよう心掛けていただきたい。

## 7. ロングセレ意見書について

筑波大学楠選手から、ロングセレの二レーン制について意見書が提出された

実行委員会からはX, Yの2コースについては十分に類似性があるとの回答があった。その後、楠選手より、類似性があるのであればなおさらタイムを考慮して、抽選の場合Xレーンの選手を優先して通過させてほしいという意見が出された。

早稲田 一定の条件における無作為性は満たされており、タイム差は公平性には含まれない。

東大 2レーンのタイム差を考慮することには却下。レーンの振り分けが公平になるようには最大限考慮すべきだが、その結果行われたレースの結果は受け入れられるべきである。レーン分けの規約改善の議論がなされるべき。

東工 タイム差は仕方がないことであり、Xを優先に通すべきではない。

一橋 タイム差、選手層まで考慮するのは望ましいが不可能なため、仕方がない。

ただし、なにかしらレーンの分け方に関して変更がなされるべきではないか

横国 さすがに18分20秒は差が開きすぎであり、今回のように差が明らかなら考慮されるべきではないか。

千葉 過去のみドルセレの規約の下ではレーンに関わらずタイム順でセレ通過者が選ばれていた。しかしあるレーンで10位でありながら通過が認められないといった事態が発生し、不公平ではないかという議論が行われた。現在の規約はその議論から生まれている。今回楠選手の意見を認めると当時の議論を蒸し返すことになるため、反対。

慶應 何分以上のタイム差が「さすがに」になるのかを考えるのは不毛な議論であり、判断つかない。また、楠選手がセレに通過していればこの議論を持ち込まなかったと考えられるため、この主観的な意見の下、公平性を論じている楠選手の意見を考慮して、ロングセレの公平性を論ずる必要はない。

上野 主観に関して論じるのではなく、今回のロングセレのみを論じるべきであり、18分20秒はレーン差としては大きすぎる。実行委員会が両コースに十分に類似性があると言っている以上、タイムによって判断すべき。

内山 規約をレースのたびに改正すれば、規約の意味がない。今回は規約通り各コース

の上位者を通過させるべき。

以上の意見交換を踏まえて、男子がいる大学のみで決を採った。

規約を拡大解釈すべきと考える大学

東工、筑波、茨城、横国

すべきでない

慶應、早稲田、千葉、東京、電通、横浜市、立教、農工、理科、一橋

反対意見

規約があるから

レーン差に関する規定が存在していなかった以上、判断すべきではない

→これからレーン差を生まないようにするための対策と、出た場合の対策を話し合っていくべき

**楠選手の意見に関しては否決**

#### 8. ロングセレに関する規約改正案について

今回、伊藤樹選手はセレクション免除者として、セレクションに出走した。今回実行委員会は伊藤樹選手の実績を十分に考慮してレーン分けを行ったと考えられるが、伊藤選手のタイムを参考記録とすると、伊藤選手が出走したXレーンの選手がセレを通過しやすくなるという事態が招くがどう考えるか。

筑波 抜いて考えても公平性に問題はない

東工 人数的な面で一致している。公平性のために一番重視すべきは人数であり、伊藤選手を抜いて考えたときにX、Yから同数の通過者が出るのであれば問題ではない。選手権の記録は参考にレーン分けはなされているが、一般クラスの選手はランダムに割り振られているのではないか。

セレ免除者がセレを通過するタイムをだすと

慶應 伊藤選手を含めて公平性を保ってレーン分けをしたのであれば、敢えて抜いて考える必要はない。(ただし、含めて考えたかどうかについては実行委員会側に確認は行っていない)

千葉 運営側の主張する公平なレーン分けとは規約にのっとりレーン分けのことであり、結果を見れば公平なレーン分けでなかったことは明らか。規約にも免除者の扱いは明記されていないのであれば各大学の判断に任せられる。現行の制度の問題点は直近のインカレミドルの選手権の部の記録のみを参考としてレーンを振っている点であり、一般の部にまで拡大して記録を参考にするべきである。

数えるべき 慶應、早稲田、農工

数えないべき 東工、横国、東大、千葉、筑波、立教、横市、電通、茨城、理科、一橋

反対多数により、今回のセレでは伊藤選手の記録は正式記録とは数えない

## 改正案1

早稲田 規約に選手権クラスでは等間隔に出走しなければならないとあり、最初か最後に出走させることになる。

東大 関東インカレと併設される場合に備え正式記録とし、レーン分けが決まったのちにランダムで振る。セレの記録としては参考記録とする。

千葉 文章を明確にすべき。

セレクション免除者がセレクションレースに参加する場合、免除者の記録は参考記録ではなく正式な記録とするが、セレクション通過者を選ぶときには免除者は除いて順位が出される。(文言は後日修正し、各大学に確認してもらう)

新しい規約案

全会一致(16)で賛成

## 改正案2

コース分けに直近のインカレミドル、ミドル併設、ロング、ロング併設の結果を考慮すべき

賛成 慶應 早稲田、千葉、筑波、理科、茨城、横市、相女、横国

反対 投稿、東京、電通、農工

委任 実践、一橋、十文字、立教 本女、

過半数賛成のため改正案2は承認された。

## 9. ロングセレ推薦について(上島、稲垣両選手の演説)

上島浩平選手の推薦に対しての各大学の意見

筑波 上島選手を不通過とした場合、日本の有望な選手がWOCへの参加を躊躇する恐れがあり、避けるべき。実力的にも十分といえるのではないか

東工 規約的には実績は厳密には満たしていない。全日本 21E 権の取得が実績として認められるかが問題。

未出走は昨年の柴沼選手の前例があり、認めてよい。

東大 世界的な大会に出場しており、未出走の理由としては妥当  
千葉 改正された規約の施行は来年度からであり、今年度に適用するのは不適當であり不公平。

上島選手全日本E権を保持していることで来年度のインカレセレ免除が認められるから今年度も認めてほしいと言っているのではなく、実績としてみてほしい。小泉氏からの意見書にあるように相互交流という面から言っても認めてもらいたい。

推薦を受理する大学

**全会一致(18)で賛成**

佐藤遼平選手の推薦に対しての各大学の意見

東工 立場としては反対  
Eカードの紛失は個人の責任であり、規約の挙げるやむをえない理由とはみなせない。  
実績があるから認めるという立場をとれば、実績のない選手にとって不公平であり、ロングセレの存在に関わる。セレを通過した選手にとってもフェアではない。  
過去に実績があってもセレ不通過だった選手がおり、実績があるから必ずしもセレ通過に十分な実力を持っているという証明にはならない。

東大 Eカード飛ばしは偶然性も含んでおり、全日本ジュニアチャンピオンという実績から言って認めてよい。  
救済としてではなく、個人の実績を重視すべきという点から

筑波 反対。実績は推薦基準を満たしているが、Eカードの紛失は個人の責任であり、紛失が起きたとも証明できない。  
前例がない。

千葉 規約において推薦の目的、趣旨に関してやむを得ない事情に関して触れていない。  
やむを得ない事情がないから推薦を却下すべきではないのではないか。  
推薦規約はロングセレを通過し得る実力を持つ選手を救済措置として存在する。

慶應 Eカード紛失の確かな証拠がない。紛失を防ぐための対策も当該選手は不備があったのではないか。完全なる事故とは認めがたい。  
関東学連は不文法的に実績とやむを得ない事情の双方がそろっていない限り推薦の受理を却下してきた。この不文法はある程度拘束力のあるものとしてみてよいのではないか。

早稲田 不文法は確固とした理由を下に判断された過去の事例を基にしている。今回の場合、過去にあいまいに判断がなされており、その過去の事例をもとに判断するのは不適當。佐藤選手がEカードを探している姿も目撃されている。  
ただし、Eカードの紛失という偶然性も含めての公平性であり、その点は留意する必要がある。

※補足 過去の事例において、不通過になったのではなくBエリートとして通過しており、ある程度救済がなされていた。

### 以上の意見交換を踏まえて佐藤選手の推薦を認めるか決を採った

賛成 早稲田、東京、千葉、電通

反対 投稿、横国、慶應、筑波、農工、理科、立教、横市、一橋

白票 茨城

### 反対多数により佐藤選手の推薦は棄却

稲垣選手の推薦に対しての各大学の意見

筑波 反対。ミスパンチによる明らかなミス。

ミスをしたときにわざと **DISQ** してタイムを縮め、実績を理由に推薦を認めてほしいという選手が増える可能性がある。

男子にも二位相当のタイムで **DISQ** した選手がいる。

立教 今後どこまで良しとするのか線引きが難しい。

千葉 実績があれば通過を認めたとした規約に留意。

同様の状況で実績のない選手はセレ通過の可能性が絶たれるが、実績のある選手は通過できる可能性があるのは不公平。

本女 失格理由が個人の問題である **DISQ** である。

実績、成績から考えると来年度の枠をとってくれるとの可能性がある。

古谷選手の方がインカレにおいて競技時間を超える可能性があり、運営に迷惑をかける可能性が高い。

一橋 速い選手が **DISQ** する例は多い。今回の例を認めるとそうした選手の推薦が殺到するのではないか。実際、今回男子の選手で一位相当のタイムでペナった選手がいる。

横市 **DISQ** は個人の責任であり、競技の一部。

稲垣選手

今回 DISQ で失格となってしまったため実績によって通してほしい。

私の方が杵を持って帰れると思う。

二位通過相当のタイムで走り切っているなのでその点も考慮してほしい。

以上の意見交換を踏まえて稲垣選手の推薦を受け入れるべきか決を採った(女子のいる大学のみのみ)

賛成 電通

反対 東工、横国、実践、十文字、横市、農工、相女、本女、立教

白票 早稲田、千葉、筑波、茨城、慶應、理科、

棄権 津田塾

過半数反対のため推薦は却下

#### 10. 新しい推薦規約について

関東の推薦規約は、やむを得ない事情で参加できなくなった場合、レース中の事故及び救護、地元の人との渉外上のトラブルが発生し競技を続行できなくなった場合のみ推薦によって救済措置として推薦が行われるとしている。

一方、関西学連の推薦規約は学連のOB OG一年目による諮問委員会(実態はセレ実行委員会)が推薦について協議するとしている。推薦の基準は、実績及び当日のレースの結果を考慮してつくられた順位に基づいて諮問委員会が決める。もしくは自己推薦。未出走、未完走、ペナの有無は救済措置の有無に関わらない。

東海学連も同様に諮問委員会が存在。規約は杵を取ることが望まれる選手を総合的に判断して推薦を行うとしている。

→関東のみ、ペナ等への救済措置がない。今年度中に関東にも諮問委員会の設置を含めた規約の改正が望まれる。

早稲田 関東学連としてはより杵を取得する可能性のある選手がインカレに出場した方がメリットが大きい。反面、セレを行う意味がなくなってしまうのではないか。

事務局長 推薦杵数は現行通りであり、セレを行う意味が失われるほどではない。

副幹事長 昨年から男子は二レーン制となり推薦の申請は増加している。推薦規約の改正を行うことで現状に適した制度を作れるのではないか。

筑波 それを許して規約を作ると来年度以降推薦が非常に多く来る可能性があるのではないか。

事務局長 推薦杵数は変わらないため、混乱はしないと予想される。

東工 どの実績を考慮するのか明確に決める必要がある。

事務局長 他にも、レース中の負傷者の救護を行った実績のない選手と未完走の実績のある選手どちらを通すかなど明確に決める必要がある。

東工大 関東で規約の改正を行う上で諮問委員会の設置を行うのか。

副幹事長 知識のない状態で自分たちのことを話し合うことになり、私情が絡んでしまう可能性があり、自分たちと距離があり、規約について知識、理解のあるOBOGが話し合う方が妥当性のある判断ができると思われる

新しい規約の作成に関して賛成の加盟校

→賛成多数(13)で承認

#### 11. 次回総会(第二回臨時総会)

日程：9月12日(火)に決定

開催地：北山(笠間)

議長：七五三に決定

その他

練習会の申請書の署名欄にきちんと署名してください。